

報道関係者各位  
プレスリリース

2016 年 12 月 5 日  
アスタミューゼ株式会社

**IoT ベンチャー企業が「医療・ヘルスケア」分野で大幅増  
住宅、農業、スポーツ分野が続く  
～アスタミューゼが世界 190 カ国の企業データベースを分析～**

「第 4 次産業革命」において、ビッグデータ、AI、ロボットとともに次世代の基幹技術と目される IoT。IoT 分野の 2025 年時点での日本国内市場規模は約 80 兆円、グローバルでは約 1920 兆円に上ると見込まれています。（※ 1）

製造業ではファナックが工場用 IoT プラットフォーム『FIELD system』を発表、住宅分野では積水ハウスが IoT 住宅の実現に向けて異業種連携によるコンソーシアム設立に動き、通信分野では IoT 専用の通信規格の実証実験がソフトバンクによって国内で初めて行われるなど、IoT 普及に向けた基盤整備が本格化してきました。

また一方で、深刻な人手不足に悩む農業では IoT 活用による超省力農業が提唱され（※ 2）、2020 年に東京オリンピックを控えるスポーツ業界では 2025 年に関連市場規模 15 兆円を目指すとし、そのうちの 1.1 兆円を IoT 活用によるものと見込むなど（※ 3）、多様な産業において IoT 活用は重点項目となっています。

アスタミューゼ株式会社（以下、アスタミューゼ）は、自社で保有する世界中の技術・特許・研究テーマ・製品情報とそれに関わるプレイヤー（企業・大学/研究機関）に対する投資データの分析を通じて投資・提携、新規事業支援を行っており、各分野のベンチャー企業に対する投資状況についても調査・分析を続けてまいりました。

そこで今回は、アスタミューゼが保有する世界 190 カ国の企業データベースの活用により、各産業における IoT ベンチャー企業の動向を分析、その結果をご紹介します。

（※ 1）アスタミューゼ推計

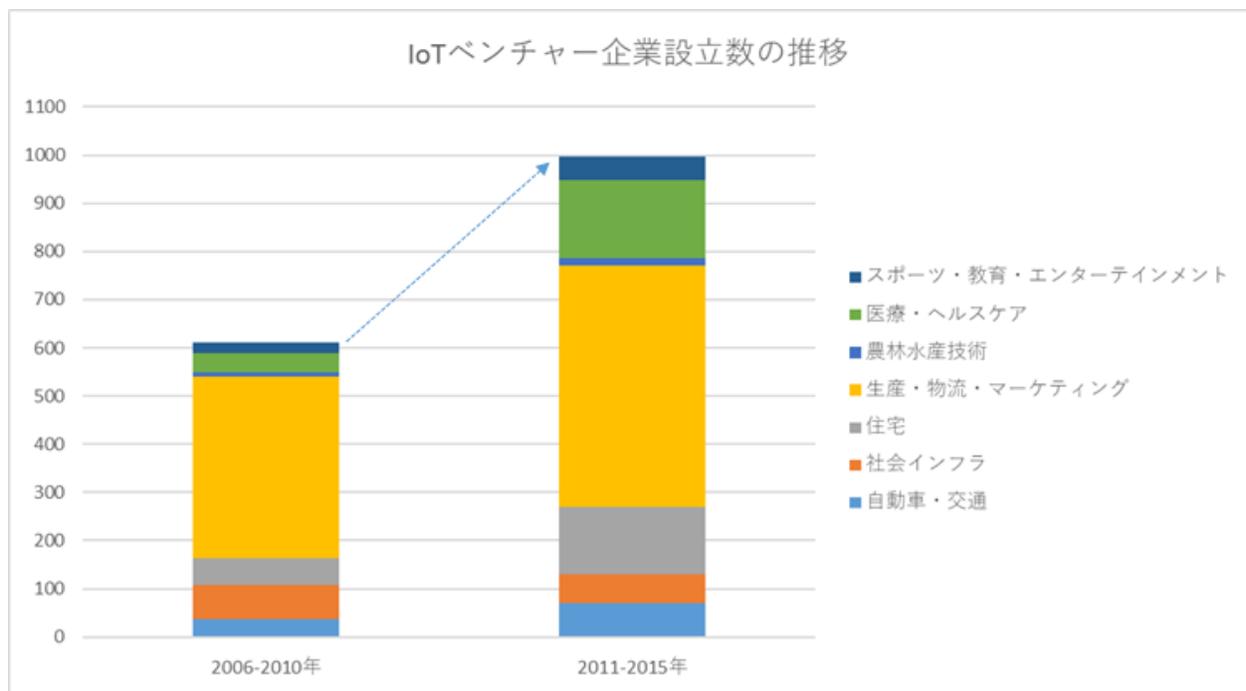
（※ 2）農林水産省「人工知能や IoT によるスマート農業の加速化について（案）」（平成 28 年 11 月）

（※ 3）経済産業省・スポーツ庁「スポーツ未来開拓会議 中間報告」（平成 28 年 6 月）

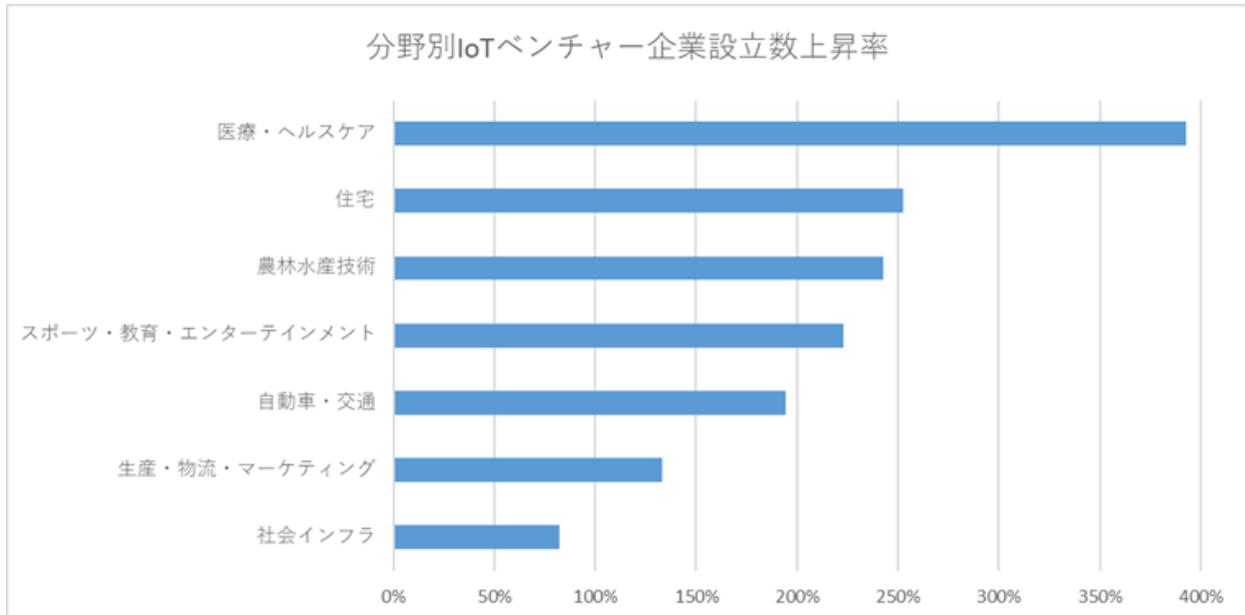
■「医療・ヘルスケア」分野でIoTベンチャーが大幅増。住宅、農業、スポーツ分野が続く

今回調査対象としたのはアスタミューゼが保有する世界190カ国の企業データベースで、独自の定義により2006年以降に設立されたIoTベンチャー企業を抽出、下記の7分野に分類しました。

自動車・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>•コネクテッドカー、車載システム、高度道路交通システム、先進運転支援システム、ドライバ状態選定・予測、プローブ情報と交通安全など</li> </ul>
社会インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>•スマートシティ、都市・ビルIoT、ゼロエネルギービル、防災ネットワーク、緊急時通信、気象観測など</li> </ul>
住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>•HEMS・スマートハウス、ICTインテリジェントハウス、ホームネットワーク、V2H、防犯・見守りなど</li> </ul>
生産・物流・マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>•工業IoT、ファクトリーオートメーション、スマートモニタリング、スマートメンテナンス、水処理システムIoTなど</li> </ul>
医療・ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>•医療IoT、生体情報センシング、ウェアラブルセンシングなど</li> </ul>
農林水産技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>•スマートアグリカルチャー、スマートフォレストリー、スマートフィッシャリーなど</li> </ul>
スポーツ・教育・エンターテインメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>•スマートスポーツ、教育、音楽・映像配信、ライブイベントなど</li> </ul>



2006-2010年と、2011-2015年のIoTベンチャー企業設立数を比較すると、全体で163%の伸びを見せています。



※2006-2010年と2011-2015年のIoTベンチャー企業設立数を比較

特に大きく伸びたのが「医療・ヘルスケア」分野で、393%の上昇率となっています。この分野のベンチャー企業では、今年2月にヘルスケアデータ分析のTruven Health Analytics社（2012年設立）をIBM社が約2900億円を買収して注目を集めたほか、ヘルスケアデータ分析アプリとウェアラブルデバイスを開発する中国のPicooc Technology社（2013年）がGobi Partnersなどから2014年2月までに約26億円を調達、連続的非侵襲生体モニタリングを可能とするウェアラブルデバイスを開発したスイスのBiovotion社（2011年設立）が保険会社のスイス・リーなどから2016年6月に約11億円を調達しています。

他の分野では、「住宅」が253%、「農林水産技術」が243%、「スポーツ・教育・エンターテインメント」が223%、「自動車・交通」が194%の上昇率を記録しました。一方、高い比率を占めてきた「生産・物流・マーケティング」は133%の伸びに留まり、「社会インフラ」は82%と減少傾向を見せました。

大企業にとって、医療・ヘルスケア分野はもちろん、IoT活用が喫緊の課題となる農業やスポーツ産業においても、ベンチャー企業との協業に可能性が広がりつつあるといえるでしょう。

## **アスタミューゼ株式会社について**

世界中の課題を解決し、未来を創るプラットフォーム『astamuse.com』を提供すると共に、法人向けサービスとして、自社の課題を解決するためのイノベーションに関わるコンサルティングサービスを展開しています。

- ・ 代表者：代表取締役 永井 歩
- ・ 設立：2005年9月
- ・ 所在地：東京都中央区築地四丁目1番1号 東劇ビル7階
- ・ URL: <http://www.astamuse.co.jp/>

### **【投資/提携・新規事業支援、データ提供に関するお問合せ】**

#### ◆ Web からのお問合せ

<http://www.astamuse.co.jp/contact/corporation/content?from=pt161205>

#### ◆ お電話でのお問合せ

03-5148-7392

### **【本プレスリリースに関する問い合わせ先】**

アスタミューゼ株式会社

担当： 亀久

mail: [press@astamuse.co.jp](mailto:press@astamuse.co.jp)

TEL: 03-5148-7393